

## 日本最大級の環境展示会 第12回エコプロダクツ2010（東京ビックサイト）報告

### 多摩森林科学園での森林体験学習について発表されました。

（多摩市立連光寺小学校5年生、2010年12月9日）

森林総合研究所多摩森林科学園では、森林に関する教育研究の一貫として、東京都多摩市にある連光寺実験林において、隣接している多摩市立連光寺小学校と連携して森林体験活動を実践しています。連光寺小学校と多摩森林科学園とのつながりは、2000年度から続いています。

2008年度からは、森林総合研究所交付金プロジェクト「都市近郊林の保全・利用のための生態系機能モニタリングを融合した環境教育活動モデル事業の開発」を実施してきました。小学校5年生の授業「総合的な学習の時間」において、連光寺実験林での森林体験活動を1年間で7回行っています。活動の内容は、森林の生物調査、竹の伐採、炭焼きです。連光寺小学校は、多摩森林科学園と連携した森林体験の他にも多摩川や田んぼでの活動など地域の環境についての学習を行い、環境教育やE S Dを重視して取り組んでいる多摩市教育委員会からも高く評価されています。

こうした多摩市立連光寺小学校での取り組みが、2010年12月9日から東京ビックサイトで行われた**エコプロダクツ2010**で報告されました。連光寺小学校5年生（3クラス全員）は、多摩市教育委員会の代表として、自分たちでまとめた森林体験学習の成果を発表しました。子ども達は、森林総合研究所の森で研究者から学んだ生き物調査について、イラストをつけたポスターや、絵本などにまとめた作品を見せて発表していました。隣のブースでは大学生や企業の展示が立ち並ぶ中で、子ども達の堂々とした姿はひととき目立ち、テレビ局からの取材もありました。

本連携事業の取り組みの成果は、報告書としてとりまとめ、公表する予定です。



写真 エコプロダクツでの発表風景 テレビ局が取材に来ました。

写真 多摩市教育委員会のブースの前での発表



写真 小学生の発表は多くの方の目にとまりました。

写真 エコプロダクツ 2010



写真 連光寺実験林での体験活動の  
様子  
—木の高さの測定—



写真 連光寺実  
験林での体験活動  
の様子  
—竹の伐採—